

# なかごころ (那珂心)



福岡市立那珂小学校  
校長 池田 彰治

「なぜだろう?」「不思議だな。調べてみたいな。」  
～ 4年 福岡市科学館出前授業 ～

10月28日(水)、中央区の六本松にある福岡市科学館からお二人の先生に来ていただき、4年生への出前授業を実施しました。例年は、子どもたちを引率し、「科学館一日学習」を行っていましたが、今回は感染症対策として、この代替の取組を申し込んだのです。

今回の学習のテーマは、『空気の不思議を調べよう』で、興味深いたくさんの実験をしていただきました。「ドライヤーの風でピンポン玉や風船は浮くのか?」「空気に重さはあるのだろうか?」などについて、まず子どもたちが予想し、先生方の実演で確かめていきました。子どもたちから、「やっぱり、予想通りやん!」「おお、すごい!」「へえ～、おもしろい。」という歓声やつぶやきがたくさん聞かれました。

「ねえ、みんな、空気ってどこにある?」という問いに、「この辺。」と、手で自分の回りを指し示す子どもたち。「では、空気に重さはあるのかな?手のひらをこうやって広げても、重さは感じないよね。」「う～ん・・・」そこで、2つの同じペットボトルの片方に自転車用のポンプを使って20回ほど空気を送り込み、てんびんの両側にぶら下げることにしました。「さあ、どうなると思う?」「空気を入れた方が下がる。」「変わらない。」「空気を入れなかった方が下がる。」と予想は分かれました。果たして・・・空気を送り込んだペットボトルの方へ大きく傾き、目には見えない空気にも重さがあることが確かめられました。

『理科離れ』ということが言われて久しいですが、「なぜだろう?」「不思議だな。調べてみたいな。」と興味・関心を持ち、身の回りの自然となかよしになってほしいものです。将来、科学者になる那珂っ子が出てくることを楽しみにしています。



【空気には重さはあるかな?】



【空気砲から出る煙の形は・・・?】

## 3年 総合的な学習の時間『われら那珂小 安全隊!』



【2年生によく分かるように】

那珂っ子に身につけさせたい力のひとつが「危険予知・回避能力」。3年生は、総合的な学習の時間の中での問題解決の活動を通して、その力を自ら高めようとしています。

『われら那珂小 安全隊!』と題し、校内で見つけた危険な箇所、危険な行動の仕方を調べ、げがをしないようにするためにはどうしたらよいかを話し合い、写真や言葉でまとめる活動を行いました。調べるだけでなく、それを伝える場を設け、グループごとに2年生へ発信したことに大きな意義があります。3年の子どもたちは、恥ずかしそうにしながらも、お兄さん、お姉さんらしさも見せて発表することができました。今後、子どもたちがまとめた作品を全校で活用することも計画しています。

お知らせしておりましたように、11月18日(水)は各学年1・3・5組、19日(木)は2・4組の学級懇談会です。くすのき学級は両日とも行いますので、ご都合に合わせて、いずれの日にお越しいただいてもかまいません。

会の中で「NAKA歌声発表会」の様子を上映いたします。撮影は構いませんが、他の児童も映っていますので、それをLINE、ブログ等、ネット上に掲載することは、お控えください。(教室のスクリーンに映しますので、ビデオやスマホ等での撮影画像はクリアではないかもしれません。ご了承ください。)